

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		2013年7月26日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 三菱電機株式会社 京都製作所 所長 能勢 純一
環境マネジメントシステムの名称	三菱電機株式会社京都地区環境マニュアル (ISO14001:2004・JISQ14001:2004)	
適用範囲	三菱電機株式会社京都地区	
導入年月日	1998年 6月 22日	
認証番号	登録番号: EC98J1021	
基本方針	1.事業活動を通じ、環境汚染の予防及び環境保全の向上に努める。 2.地域住民・関係諸官庁とのコミュニケーションを密にし、地域の環境保護・地域社会との調和と貢献に努める。 3.環境マネジメントシステム、環境パフォーマンスの向上を図り、継続的な改善をする。 4.環境に関わる法令・協定等の要求事項を順守する。 5.環境目的・目標及びプログラムを策定し、環境汚染の予防を推進する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	2012年度環境マネジメントプログラム目標値 1.生産時CO2排出量の削減:395t-CO2/2012年度(理論排出削減量) 2.製品物流でのCO2削減.:0.078t/t(製品1tあたりの輸送t-CO2排出量) 3.製品使用時のCO2削減。(製品機種毎に削減目標を設定) 4.製品の資源投入量の削減。(製品機種毎にプラスチック・金属材料の削減目標を設定) 5.使い捨て包装材の使用量維持。(新規開発機種及び同系列機種の製品重量あたりの包装材使用量を維持。) 6.ゼロエミッション率:0.1%未満(総排出量当たりの直接埋立廃棄物の削減)	
目標を達成するための取組の内容	1.生産時CO2排出量の削減:最新高効率機器(エアコン,LED照明)への更新及び太陽光発電パネル72kW増設を実施。 2.製品物流でのCO2削減.:大型低床車両による輸送により積載効率を向上させCO2削減を実施。 3.製品使用時のCO2削減:製品に使用する光源のLED化、待機電力の低電力化のために製品設計見直し・改善を実施。 4.製品の資源投入量の削減:主要部材(プラスチック、金属部材)の軽量化、肉厚の薄型化するために製品設計見直し・改善を実施。 5.使い捨て包装材の使用量維持:新規開発、同系機種の製品を包装材使用が増えないようなコンパト設計により使用量を維持。 6.ゼロエミッション率:分別強化による埋立廃棄物の削減を実施。	
目標を達成するための取組の進捗状況	2012年度目標に対する進捗 1.生産時CO2排出量の削減:628t-CO2/2012年度(理論排出削減量) 2.製品物流でのCO2削減.:0.072t/t(製品1tあたりの輸送t-CO2排出量) 3.製品使用時のCO2削減:対象製品機種で全て目標を達成。 4.製品の資源投入量の削減:対象製品機種でプラスチック・金属材料の削減目標を達成。 5.使い捨て包装材の使用量維持:新規開発・同系機種で包装材使用量の維持。 6.ゼロエミッション率:0.08%(総排出量当たりの直接埋立廃棄物の削減)	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2012年度環境マネジメントプログラムで策定した、目標値は全て達成できた。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	2012年度に計画した順守評価項目に基づき、四半期毎に「順守状況を確認・報告」を実施。 2012年度実績は、行政報告・届出は遅滞なく実施済み。行政より指摘・指導はありませんでした。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステム・環境パフォーマンスの見直しとレビューを毎年、年度末に実施している。以下、見直し内容 1.内部環境監査:システムは問題なし。全部門の管理レベルの底上げを指示。 2.法的要求事項及びその他の要求事項の順守状況の評価と確認 :順守できている 3.苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーションの有無を確認 :車両、工事等に伴う騒音のクレームが3件あり、全て解決済み。 4.環境パフォーマンス、目的及び目標の達成状況の確認 :全て目標をクリア 5.環境パフォーマンス、目的及び目標に対する不適合・是正処置の有無の確認 :不適合なし 6.経営者による見直し :遵法の徹底、監査での指摘事項の確実な是正と再発防止、電気料金値上げによるコスト削減への取組みを指示。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。